

第 171 回  
全国都道府県議会議長会  
定例総会会議録

令和 4 年 1 月 26 日

全国都道府県議会議長会

# 第 171 回

全国都道府県議会議長会

定例総会会議録

第 171 回全国都道府県議会  
議長会定例総会出席者

第 171 回全国都道府県議会議長会定例総会出席者  
(オンライン開催)

令和 4 年 1 月 26 日

北海道議会議長	小 畑 保 則 君
青森県議会議長	三 橋 一 三 君
岩手県議会議長	五日市 王 君
秋田県議会議長	柴 田 正 敏 君
宮城県議会議長	菊 地 恵 一 君
山形県議会副議長	奥 山 誠 治 君
福島県議会議長	渡 辺 義 信 君
東京都議会議長	三 宅 しげき 君
神奈川県議会議長	小 島 健 一 君
千葉県議会議長	信 田 光 保 君
茨城県議会議長	伊 沢 勝 徳 君
栃木県議会議長	阿 部 寿 一 君
埼玉県議会議長	梅 澤 佳 一 君
群馬県議会議長	井 田 泉 君
山梨県議会議長	桜 本 広 樹 君
長野県議会議長	宮 本 衡 司 君
新潟県議会副議長	小 島 隆 君
愛知県議会副議長	近 藤 裕 人 君
三重県議会議長	青 木 謙 順 君
静岡県議会議長	宮 沢 正 美 君
岐阜県議会議長	佐 藤 武 彦 君
富山県議会議長	五十嵐 務 君
石川県議会議長	向 出 勉 君
福井県議会副議長	宮 本 俊 君
京都府議会議長	菅 谷 寛 志 君
大阪府議会議長	鈴 木 憲 君

兵庫 県議会 議長	藤 本 百 男 君
奈良 県議会 議長	荻 田 義 雄 君
滋賀 県議会 議長	富 田 博 明 君
広島 県議会 議長	中 本 隆 志 君
岡山 県議会 議長	神 宝 謙 一 君
鳥取 県議会 議長	内 田 博 長 君
島根 県議会 議長	田 中 八洲男 君
香川 県議会 議長	十 河 直 君
徳島 県議会 議長	岩 丸 正 史 君
高知 県議会 議長	森 田 英 二 君
愛媛 県議会 議長	中 畑 保 一 君
福岡 県議会 副議長	仁戸田 元 氣 君
大分 県議会 議長	御手洗 吉 生 君
佐賀 県議会 副議長	原 田 寿 雄 君
長崎 県議会 議長	坂 本 智 徳 君
宮崎 県議会 議長	中 野 一 則 君
熊本 県議会 議長	小早川 宗 弘 君
鹿児島 県議会 議長	田之上 耕 三 君
沖縄 県議会 議長	赤 嶺 昇 君

ほか事務局出席者 2名

総 員 47名

第 171 回全国都道府県議会  
議長会定例総会記事

# 第 171 回全国都道府県議会議長会定例総会記事

(令和 4 年 1 月 26 日午後 3 時)

※本会議の記事内容詳細は別途速記録参照

## 1 開 会

青木信之全国都道府県議会議長会事務総長が開会を告げるとともに、オンライン出席上の注意事項について説明した。

## 2 会長あいさつ

全国都道府県議会議長会会長の柴田正敏秋田県議会議長があいさつを述べた。

## 3 来賓あいさつ

青木事務総長が金子恭之総務大臣のメッセージを披露した。

## 4 新任正副議長紹介

青木事務総長が令和 3 年 10 月 28 日開催の第 170 回定例総会以降に就任した正副議長のうち出席の正副議長 3 名を紹介した。

その後、議事に先立ち、柴田会長が副会長の小畑保則北海道議会議長を総会副議長に指名した。

## 5 議 事

### ・ 令和 4 年度本会予算（案）について

青木事務総長が令和 4 年度本会予算（案）の内容を説明した後、採決の結果、全会一致をもって原案のとおり決定した。

## 6 報 告

### (1) 第 33 次地方制度調査会について

青木事務総長が令和 4 年 1 月 14 日に発足した第 33 次地方制度調査会の諮問事項や委員構成、同日開催された第 1 回総会における総務大臣との懇談の内容（議会関

係の発言)等について報告した。

## (2) 国民の地方議会・議員に関する意識調査について

青木事務総長が第33次地方制度調査会における審議を控え、令和3年の11月から12月にかけて、三議長会（全国都道府県議会議長会、全国市議会議長会、全国町村議会議長）共同で実施した国民の地方議会・議員に関する意識調査の結果について報告した。

## 7 閉会

以上により閉会した。（午後3時28分）

第 171 回全国都道府県議会  
議長会定例総会議事録  
(速 記 録)

令和4年1月26日(水)

午後3時 開 会

## 開 会

○全国議長会事務総長（青木 信之君）全国都道府県議会議長会事務総長の青木でございます。

定刻となりましたので、只今より、第171回全国都道府県議会議長会定例総会を開会いたします。

今回も、47都道府県議会をオンラインで結んでの開催となりました。

恐縮でございますが、過去2回のオンラインでの総会と同様、御出席の皆様にご2点、お願いをさせていただきます。1点目でございますが、通信障害が発生することなく、本総会の議事が円滑に進行できるようにするため、正副会長及び発言予定者以外の方は、映像を非表示としていただきますようお願いいたします。このため、事前にお送りしております本総会の議事次第、参考資料1を御参照いただければと存じます。

2点目のお願いでございますが、御発言の際のみマイクをオンにいただき、それ以外の時は、ミュートの状態にさせていただきますよう、お願いいたします。

なお、映像が非表示の方が御発言される際は、映像を表示させていただきますよう、お願いいたします。

それでは、恐縮ですが、正副会長、宮城県、茨城県、福岡県以外の方は、映像を非表示としていただきますよう、お願いいたします。よろしくお願いいたします。

## 会長あいさつ

○全国議長会事務総長（青木 信之君）それでは、柴田会長よりごあいさつをいただき、ごあいさつの後は、会議の進行をお願いいたします。

○全国議長会会長（柴田 正敏君）会長の柴田正敏でございます。

皆様におかれましては、定例会や臨時会への対応等で御多忙の中にも関わらず、本日の総会に御出席を賜り、誠にありがとうございます。

本年も、どうぞよろしくお願ひいたします。

昨年、デルタ株の感染拡大により数多くの尊い命が失われるとともに、社会経済活動が大きな影響を受けたものの、ワクチン接種がスピード感を持って進む中でデルタ株の抑え込みに成功し、年末までは感染状況に落ち着きが見られました。

しかし、今、我が国はオミクロン株の急速な感染拡大に直面しております。まん延防止等重点措置の適用地域は、現在の 16 都県から全都道府県の 7 割に当たる 34 都道府県に拡大する決定がなされ、明日から適用されます。

亡くなられた方々と御家族に哀悼の意を表するとともに、罹患され、苦しんでおられる方々に御見舞いを申し上げます。

本会では、新型コロナ対策の充実とコロナ禍により疲弊している地域経済の早期回復など共通する諸課題の早期解決を図るため、昨年 10 月の定例総会において、令和 4 年度政府予算編成に関する決議、提言を決定した後、正副会長及び各委員会の正副委員長により、政府、与党に対する要請活動を実施してまいりました。副会長、各委員会の正副委員長の皆様におかれましては、コロナ禍にも関わらず御参加いただき、誠にありがとうございました。

その際は、10 月の総会で静岡県議会の宮沢議長さんから御発言がございました「熱海市の土石流災害を踏まえた盛土の規制強化」に関して、国土交通委員会の正副委員長の皆様から要請を行っていただきました。今月 17 日に召集された第 208 回通常国会における、岸田総理初となる施政方針演説の中で、熱海市の土砂災害と同様の悲劇を繰り返さないよう、危険な盛土を規制するための法律の整備を行っていくとの表明がございました。

同じく 10 月の総会で鹿児島県議会の吉留副議長さんから御発言がございました「保健所の人員体制強化」に関しては、副会長の皆様とともに要請を行いました。昨年 12 月に決定した令和 4 年度地方財政対策では、保健所において感染症対応業務に従事する保健師がコロナ禍前の 1.5 倍となるよう財政措置する、とされたところでもあります。

また、地方財政対策に関しては、11 月 25 日の自由民主党「予算・税制等に関する

る政策懇談会」は小畑北海道議会議長さんに、12月21日の「第3回国と地方の協議の場」は藤本兵庫県議会議長さんに、私に代わって出席いただき、地方の安定的な財政運営に必要となる一般財源の総額の確保等に係る要請を行っていただきました。こうした活動もあり、一般財源総額（水準超経費を除く交付団体ベース）は、前年度を203億円上回る62兆135億円が確保され、また、臨時財政対策債の発行額は1兆7,805億円と過去最低に近い水準にまで抑制され、地方財政の健全化が図られました。

このように、多くの決議、提言事項が実現いたしました。今後とも、山積する諸課題の解決が着実に図られるよう、全力を尽くしてまいります。

皆様におかれましても、なお一層の御指導、御鞭撻を賜りますよう心よりお願いを申し上げます。

さて、私は、今月14日に官邸で開催された第33次地方制度調査会の第1回総会に出席してまいりました。皆様も御承知のとおり、この調査会は、地方制度に関する重要事項を調査、審議する総理の諮問機関でございます。岸田総理からは、デジタル・トランスフォーメーションの進展及び新型コロナ対応で直面した課題等を踏まえた国と地方の関係等について、諮問を受けました。

その後、総務大臣との懇談に移り、金子総務大臣のごあいさつ、委員の江崎孝参議院議員の御発言の次に、私から、地方議会は、新型コロナ対策と社会経済活動の両立などに係る難しい意思決定も行っている一方、地方自治法上「議会を置く」としか規定されていないこと、三議長会は地方議会の団体意思決定機関としての位置付け、議員の職務等を法律で規定することで、議会、議員の責任が明確化され、その重要な役割について国民から理解を得る契機となり、女性や若者など、多様な人材の議会への政治参画につながるものと考えていることを申し上げた上で、令和5年の統一地方選挙までに地方議会の位置付け等を法律に規定されるよう、参考資料2にあります1月12日の役員会で行った決議事項につき、早急に審議を進めていただきたい旨、強く訴えてまいりました。

その後は、清水全国市議会議長会会長及び南雲全国町村議会議長会会長からも、同様の御発言がございました。

また、三議長会の会長により、自由民主党「地方議会の課題に関するプロジェクトチーム」の橘幹事長にお会いし、引き続きの御支援をお願いするとともに、

総務省の吉川自治行政局長に決議を手交し、地方制度調査会での早急な審議を要請してまいりました。詳細は後ほど事務総長に報告させます。

引き続き、地方制度調査会で他の審議事項に優先して地方議会について審議していただいた上で、令和5年の統一地方選挙までに地方議会の位置付け等を法律に規定していただくという、この地方議会にとっての最重要課題の達成に向け、不断の努力を重ねてまいります。今後の情勢によっては皆様のお力添えをお願いさせていただくこともあろうかと思えます。その際は何卒よろしくお願いたします。

結びに、改めてコロナ禍の一刻も早い収束を願うとともに、皆様の御多幸と御健勝を祈念いたしまして、私からのごあいさつとさせていただきます。

本日はどうぞよろしくお願いをいたします。

## 来賓あいさつ

○全国議長会会長（柴田 正敏君）次に、来賓あいさつですが、金子恭之総務大臣からメッセージを戴いております。事務総長にメッセージを披露させます。

○全国議長会事務総長（青木 信之君）金子総務大臣から預かっておりますメッセージを披露させていただきます。

第171回全国都道府県議会議長会定例総会の御開催、誠にめでとうございます。

都道府県議会議長の皆様方におかれましては、日頃より地域の発展に御貢献いただいているほか、新型コロナ対策に懸命に取り組んでいただいております。深く敬意を表します。

追加接種に必要なワクチンの供給については、各地方公共団体が計画的に接種を進められるよう、厚生労働省から今般の前倒しに必要な分も含め先々週示されました。

総務省としましても、総理の指示を受けて12日に地方連携推進本部を開催し、3回目接種の前倒しのペースアップに向け、関係各省とともに現場で接種にあたる地方公共団体と緊密に連携をしながら支援に万全を期すことを確認しました。

都道府県におかれましては、大規模接種会場の設置や接種場所のさらなる確保

といった接種体制の整備を含め、特に1月、2月に山場を迎える高齢者等への3回目接種の前倒しについて、市町村を支援し、ペースアップに取り組んでいただくことをお願い申し上げます。

地方のデジタル化については、政府全体でデジタル田園都市国家構想を進めており、総務省としましても、地域における光ファイバや5Gなどの情報通信基盤の整備やテレワークの普及促進などに力を入れてまいります。

行政のデジタル化の基盤となるマイナンバーカードは、引き続き「令和4年度末に、ほぼ全国民に行き渡る」ことを目指し、マイナポイント第2弾を関係省庁と連携して実施しています。政府全体で一層の普及に取り組んでまいります。

令和4年度地方財政対策においては、社会保障関係費の増加が見込まれる中、地方公共団体が行政サービスを安定的に提供しつつ、地域社会のデジタル化や公共施設の脱炭素化の取組等の推進、消防、防災力の一層の強化などの重要課題に取り組めるよう、一般財源総額について令和3年度を上回る額を確保しました。

その中で、地方交付税総額については、前年度を0.6兆円上回る18.1兆円を確保しつつ、臨時財政対策債については発行額を昨年度から3.7兆円抑制し、残高を2.1兆円縮減することができました。

令和4年度の地方税制改正につきましては、景気回復に万全を期すため、固定資産税の負担調整措置について令和4年度に限り、地価が一定以上上昇した商業地について税額の上昇幅を半減させる措置を講じるほか、国税における見直しを踏まえ、賃上げ促進税制、住宅ローン控除について地方税でも対応を行うこととしました。引き続き、地方分権推進の基盤となる地方税収を確保しつつ、税源の偏在性が小さく税収が安定的な地方税体系の構築に取り組めます。

近年、防災・減災、国土強靱化は、一層重要性を増しております。総務省としましても、地方公共団体の取組をしっかりと支援してまいりたいと考えております。緊急消防援助隊による災害対応力の強化や、常備消防、消防団の充実強化に取り組んでまいります。特に、団員数が大きく減少している消防団については、報酬の充実等、団員の処遇改善をしっかりと進めるなど団員確保に向け全力を挙げてまいります。消防防災ヘリコプターの安全運航や、消防学校における教育訓練、市町村への御支援をお願いいたします。

人口減少や過疎化の進行など、我が国が抱える様々な課題を解決するためには、

活力ある地域づくりが重要であります。私も、「地方の繁栄なくして国の繁栄なし」をモットーに、徹底した現場主義を貫き、現場の声、生の声を聞き、地域の発展に取り組んでまいります。

結びに、全国都道府県議会議長会のますますの御発展と、皆様方の御健康と御活躍をお祈り申し上げます。

令和4年1月26日、総務大臣、金子恭之。

以上でございます。

## 新任正副議長紹介

○全国議長会会長（柴田 正敏君）次に、去る10月28日に開催した第170回定例総会以降に御就任された正副議長を、事務総長から御紹介させていただきます。

○全国議長会事務総長（青木 信之君）去る10月28日に開催した第170回定例総会以降に御就任された正副議長は、参考資料3の新任正副議長名簿のとおりでございますが、このうち本日御出席の正副議長の皆様を御紹介申し上げます。

宮城県議会議長、菊地恵一さんでございます。

○宮城県議会議長（菊地 恵一君）宮城県議会議長の菊地恵一でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

○全国議長会事務総長（青木 信之君）続きまして、茨城県議会議長、伊沢勝徳さんでございます。

○茨城県議会議長（伊沢 勝徳君）茨城県議会議長に就任いたしました伊沢勝徳でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

○全国議長会事務総長（青木 信之君）続きまして、福岡県議会副議長、仁戸田元氣さんでございます。

○福岡県議会副議長（仁戸田 元氣君）福岡県議会副議長の仁戸田元氣でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

○全国議長会事務総長（青木 信之君）御紹介は以上でございます。

○全国議長会会長（柴田 正敏君）新任正副議長の皆様、ありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。

議事に先立ち、本総会の副議長につきましては、小畑保則北海道議会議長さん

をお願いいたします。よろしくお願ひいたします。

## **議 事**

### **令和4年度本会予算（案）について**

○全国議長会会長（柴田 正敏君） それでは、日程に従い議事に入ります。

令和4年度本会予算案を議題といたします。本予算案につきましては、昨年10月20日開催の役員会において御決定いただいた予算大綱に基づき、事務局に編成させたものであります。予算案につきまして事務総長より説明をさせます。

○全国議長会事務総長（青木 信之君） 令和4年度本会予算案につきまして、御説明いたします。議事資料1―1を御覧いただきたいと存じます。予算案本体は議事資料1―2でございます。

本予算案は、昨年10月20日の役員会において決定いただきました令和4年度予算大綱に基づき精査の上、編成したものでございます。

予算大綱と比べますと、約230万円の増額となっております。一般会計歳入歳出予算の総額は、対前年度約300万円増の約3億1,100万円でございます。

まず、歳入についてでございますけれども、分担金につきましては令和4年度は各都道府県の現行の分担金額を継続することとされております。財政調整積立金会計からの繰入れは行わない、繰越金につきましては、予算大綱から200万円増額し、1,600万円としております。

次に、歳出でございます。会議費1,756万2千円でございますけれども、定例総会など各種会議の一部をオンライン開催にすることで会場費が減額になる一方で、対面開催の場合に新型コロナウイルス感染防止対策として広い会議室が必要なことで増額となり、令和4年度予算大綱からは約200万円の増額、令和3年度本会予算と比べますと約240万円の減額となっているところでございます。

次に、事業費3,835万8千円でございますけれども、議会運営研究費に新たに議会デジタル化推進アドバイザーに必要な経費、また、後ほど御説明申し上げますが、第33次の地方制度調査会における審議が進む中で必要となり得る調査経費、あるいは研究会に要する経費等を計上する一方で、諸経費を見直し、結果、対前年度約200万円の減額となっております。

次に、管理費 2 億 1,567 万 3 千円でございますが、昨年度に退職した職員の補充等を予定していることから、対前年度約 750 万円の増額となるものでございます。

その下の事務所費 2,673 万 6 千円でございますけれども、昨年度とほぼ同額を計上し、繰出金 1,000 万円及び予備費 300 万円は昨年度と同額を計上しているものでございます。

次に、財政調整積立金会計でございますが、コロナ禍によって節減した分を繰入金とし、1,300 万円の歳入を見込み、一般会計への繰出しは行わないため、令和 4 年度末は 2 億 5,434 万 5 千円の残額を見込んでおります。

次に、退職手当積立金会計でございますが、歳出は 2,531 万 9 千円で、令和 4 年度末は 1 億 1,715 万 4 千円の残高を見込んでいるところでございます。

令和 3 年度において新型コロナウイルス感染防止を図るため、対面での会議が減少するなど、予算の執行残額が見込まれる分を財政調整積立金に繰り入れることとしております。今後のコロナ禍の状況は不透明でございますけれども、令和 4 年度におきましては、コロナ後の状況も見据え会議開催経費等を見込み予算を編成しておりますが、今後の状況も見ながら適時適切に効率的な予算執行に努めてまいりたいと考えているところでございます。

説明は以上でございます。

○全国議長会会長（柴田 正敏君）本件につきましては、事務総長説明のとおりであります。御質疑、御意見等ございましたら、御発言をお願いいたします。

現在、映像を表示していない方でも何か御発言される場合は映像を表示いただき、御発言いただいで結構でございます。いかがでしょうか。

それでは、御発言もないようですのでお諮りいたします。令和 4 年度本会予算案につきましては原案のとおり決定することに、御異議ございませんか。何かございましたら、御発言をお願いいたします。御異議がない場合、異議なしの旨御発言いただいで結構ですが、よろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○全国議長会会長（柴田 正敏君）それでは、御異議がございませんので、そのように決定いたします。

# 報 告

## (1) 第 33 次地方制度調査会について

○全国議長会会長（柴田 正敏君）次は、報告事項でございます。事務総長に報告させます。

○全国議長会事務総長（青木 信之君）報告資料 1 の第 33 次地方制度調査会及び報告資料 2 の国民の地方議会・議員に関する意識調査の結果について、御報告をさせていただきます。

まず、報告資料 1 を御覧いただきたいと存じます。

地方制度調査会は、内閣総理大臣の諮問に応じ、地方制度に関する重要事項を調査、審議するため設置されるものでございます。去る 1 月 14 日、学識経験者 18 名、国会議員 6 名、地方六団体の代表 6 名で構成される第 33 次の地方制度調査会が設置され、資料 1 頁目の上にごございますように、総理からの諮問がなされたところでございます。第 32 次の地方制度調査会に引き続き、地方議会についても審議される見込みでございます。

諮問がありました後、総務大臣との懇談の場で、冒頭の柴田会長のごあいさつにもありましたように、資料 3 頁にあります 1 月 12 日の役員会における決議も踏まえ、柴田会長からは、地方議会の団体意思決定機関としての位置付け、議員の職務等を地方自治法に明確に規定すべきこと、令和 5 年の統一地方選挙までに法改正を実現するべく早急に審議を行っていただきたい旨、御発言をされました。

全国市議会議長会会長、全国町村議会議長会会長からも、同趣旨の御発言がございました。

今後、学識経験者の委員で構成される専門小委員会において、地方六団体からの意見聴取も行われる見込みでございます。

柴田会長を先頭に各議会のお力添えもいただきながら、対応をしてまいりたいと考えております。よろしくお願い申し上げます。

## (2) 国民の地方議会・議員に関する意識調査の結果について

○全国議長会事務総長（青木 信之君）続きまして、報告資料2を御覧いただければと存じます。

この国民の地方議会・議員に関する意識調査でございますけれども、第33次の地方制度調査会における審議を控え、三議長会共同で実施したものでございます。調査結果のポイントをまとめたものが、この報告資料2でございます。

1頁目の中ほどより下の方を御覧いただければと存じます。アンケートに対する答えをグラフにより示しております。オレンジ色の部分は「そう思う」、薄いオレンジ色の部分は「どちらかといえばそう思う」という風に答えた方々の割合でございます。

議会の役割が重要であるとの意見は7割以上でございました。また、議員の仕事が重要だとする意見は6割以上となりました。

2頁目でございますが、議会が団体としての意思決定をすることや、議員の職務等について法律にはっきり定めるべきとする意見が、約6割を占めております。

また、2頁目の中ほどより下の方でございますけれども、議員のなり手不足が問題となっていると認識している方は約4割でございますが、若者や女性が議員になりやすいようにすべきだという意見は約7割を占めております。

このアンケートにつきましては、アンケート項目相互の関係も含めた分析も行っております。各議会に事務的に情報提供させていただくとともに、今後、報道機関にも情報提供するなど、地方議会の団体意思決定機関としての位置付け等について、国民の皆様にも少しでも御理解いただけるよう努力してまいります所存でございます。

御報告は以上でございます。

○全国議長会会長（柴田 正敏君）只今の報告に対し、御質疑、御意見がございましたら、御発言願います。何かございますでしょうか。

それでは、御発言もないようですので、次の日程に移ります。

## そ の 他

○全国議長会会長（柴田 正敏君）次に、日程7、その他でございますが、この際

何かございましたら、御発言をお願いします。

何かございますでしょうか。よろしいでしょうか。

## 閉 会

○全国議長会会長（柴田 正敏君）特に御発言もないようですので、これを持ちまして、第 171 回定例総会を閉会いたします。

午後 3 時 28 分 閉会